

父母について

受験日： 平成 25 年 3 月 30 日

西東京地区本部

浜田山支部

伊藤 大樹

ぼくは自分の気持ちで「強くなりたい」と思ってお父さんと空手を始めました。

と中で「やめたい」と思ったけど段をとりたかったからやめないでがんばってつづけました。お父さんが練習にこななかった時は自分のまちがいがわかるか心配だったけど、本部長や黒おびの人たちがおしえてくれたのでできました。ぼくがこっせつしたとき空手ができなくてくやしかったけど、お父さんがなぐさめてくれたので安心して空手をさいかいできました。それから段の審査受験書をもらえるまで全力でお父さんと練習しました。お父さんが先にもらったとき心配しました。いっしょに審査受験書をもらっていたお父さんにぬかされてしまうと思ったからです。でも審査までにもらうことができほっとしました。もっとうまくなりたくてお父さんと練習していたらある日本部長に「毎日うまくなっている」といわれた時お父さんとの練習のせいかだと思いました。これからもお父さんと空手をやってもっともっとうまくなりたいです。